

株式会社ジェイコム東京 南エリア局

放送番組審議会 議事録

平成 31 年度(2019 年度) 株式会社ジェイコム東京南エリア局 放送番組審議会は、2020 年 3 月 27 日(金) ジェイコム東京 南エリア局にて開催された。

【放送番組審議会委員】

板倉 徳枝 様
川副 隼平 様
金田一 秀穂 様
佐久間 ヒロコ 様
山ノ内 凜太郎 様
藤山 健次郎 様 (欠 席)
(順不同)

事業者側から J:COM 東京の概要、南エリア局の沿革、J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】進行：佐久間議長

■番組内の手話について

委員

手話が入っている番組、入っていない番組の切り分けはどうなっているか。メインコンテンツであるデイリーニュース内へ手話を挿入することを検討されたい。

事業者

杉並区から委託された広報番組には手話版があるが、ジェイコム独自制作の番組には入っていないため、ご意見として参考にさせていただく。

■視聴可能世帯の定義について

委員

コミュニティチャンネルの視聴可能世帯について詳しく説明してほしい。

事業者

マンションの場合は大家、分譲マンションの場合は管理組合の承諾を得て導入している。87%が導入されているが、一部、承諾が得られない場合や導入ルートが確保できない場合は導入できないため、視聴可能世帯数には入らない。一戸建ての場合は個別契約のため、なにかしらのサービスを契約する必要がある。契約されていない一戸建てはコミュニティチャンネルが視聴できないため、視聴可能世帯には入らない。

一方で、ど・ろーかるアプリを使えばどなたでも過去のアーカイブを含めた番組を視聴することができる。今まではテレビでしか視聴できなかったが、現在はアプリを活用した視聴スタイルが確保できる。

■ど・ろーかるアプリについて

委員

アプリは SNS 等を活用して若者世代へリーチするべきである。若者世代は区の実践に興味がないわけではない。情報の取り方がわからないだけなので、ど・ろーかるアプリで情報をより発信して、若い世代に向けた普及をお願いしたい。

また、ど・ろーかるアプリはあくまで媒体を発信するツールであり、ツールの先に観たいものがあるからダウンロードするわけである。自分だったら地域の番組に知っている人が出演していたら観ると思う。自分自身もコミちゃんに出たことがあり、周りから「ど・ろーかるで観たよ」と言われた。

中学生ボランティア等、良い事している子供たちにスポットを当て、30秒でもいいからインタビューしてほしい。それがローカルテレビの良いところである。ど・ろーかるアプリがもっと普及することを期待する。

事業者

取材するイベント会場等では放送時間の告知と共にど・ろーかるアプリの周知も行っているが、なかなか行き届いていないのが現状である。アプリの QR コードが記載されているカードの配布や、番組チラシにも掲載はしているがマスプロモーションができていないため、SNS 等を活用した普及を検討していく。

■地域イベントの取り上げ方について

委員

地域イベントの取り上げ方について、そもそもイベントに興味ある人はイベントに行くわけで、行かない人は2つに分けられる。イベントに興味ない人か、イベントに物理的に行けない人。それぞれの方にどういった発

信の仕方があるかと考えたときに、現地に行くよりも詳しい情報が得られ、来年いきたいと思える内容。物理的に行けない人へは手話放送などの配慮した内容にすべきである。

事業者

ご意見として参考にさせていただく。

■医療関係の情報発信について

委員

住んでいる方がさらに充実した生活を送るにあたり、医療関係の発信を強化してほしい。〇〇町で新型コロナウイルス感染が確認された、といった情報や〇〇病院は空いているなど、発信することの調整は難しいと思うが、ローカルテレビだからこそ出せる杉並独自の医療関係の情報を詳しく聞けるような番組があればよい。

事業者

防災関係ではこまめな情報を発信できるシステムがある。例えば台風が来た時には区からジェイコムに即時情報が共有され、テロップ表示できるシステムがある。この度のコロナ関係で痛感しているのは医療関係からの情報、ホットラインを強化すべきと感じている。

■外国人文化交流の番組について

委員

文化交流、とくに外国人との交流番組を積極的に放送してほしい。杉並区にはネパール人や中国人の方が多く見受けられるが、住人同士がとても仲良くできていると感じる。外国人目線で区を見てもらう内容の番組があればよい。コミュニティチャンネルで取材しているスピーチコンテストを見ていると日本人との目線の違いに驚くし、新たな発見がある。

事業者

オリンピック・パラリンピックについては区との連携もあり取材することが多い。ジェイコム加入者でも外国人は多く、そんな環境の中で様々な文化を発信できる場があってもいいと感じている。

■子供食堂の情報発信について

委員

子供食堂の情報は放送しているか。学校が休校で給食もなく、食事ができない貧困の状況などをキャッチアップすることが必要ではないか。

事業者

デイリーニュースの中で取り上げることはある。板橋区のコミュニティチャンネルでは子供にフォーカスした番組「わくわく一年生」を放送していたが、杉並区の場合は全員分の親の承諾を得る必要があり、子供に対する取材の取り扱いは難しいところがある。情報として流す部分と映像として流す部分を分けることが求められる。

■番組の評価基準について

委員

番組の評価基準を設けた上で、番組内容に対する効果検証ができないか。その結果を以って、来年度の議会で具体的に評価できるようになると良い。

事業者

ご意見として参考にさせていただく。

以上